

再資源化預託金等のキャッシュフローイメージ(前提条件表) ストレスシナリオ1 (新車新規登録台数は横這いで、年末保有台数は毎年減少するケース)

(単位:千台)

	1年目 (2005/1～	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	累計
1. 年末保有台数 ・H16:74,508千台 ・H17～H21:400千台/年減 ・H22～H26:200千台/年減	74,108	73,708	73,308	72,908	72,508	72,308	72,108	71,908	71,708	71,508	――
2. 新車新規登録台数 横這い	5,850	5,850	5,850	5,850	5,850	5,850	5,850	5,850	5,850	5,850	58,500
3. ELV発生台数 〔前年末保有台数+当年 新規登録台数-当年末 保有台数〕	6,250	6,250	6,250	6,250	6,250	6,050	6,050	6,050	6,050	6,050	61,500
4. 中古車輸出台数 (うち携行品)	1,100 (300)	1,200 (300)	1,300 (300)	1,400 (300)	1,500 (300)	1,500 (300)	1,500 (300)	1,500 (300)	1,500 (300)	1,500 (300)	14,000 (3,000)
5. 国内廃棄台数 (ELV発生台数-中古車輸出台数)	5,150	5,050	4,950	4,850	4,750	4,550	4,550	4,550	4,550	4,550	47,500
6. 継続検査預託台数	31,355	25,390	4,320								61,065

・H16末保有台数(74,508千台)－継続検査預託台数(61,065千台)－中古車輸出台数(3,600千台)＝引取り時預託台数(9,843千台)

※キャッシュフローのイメージを検証するための資料であるため、
年度単位ではなく1～12月の暦年単位としている点につき留